

第七十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十四年三月十七日(金曜日)午後一時
三十八分開會

○委員長(公魯岩會員榮者) 是ヨリ開會致
シマス、御質問ハゴザイマセヌカ

○男爵菊池武夫君 今陸軍ノ方ガオイデニ
ナリマセヌガ、張鼓峰關係ノ加算ハ如何ニ
サレタカ、事實ガマダ……

○政府委員(樋貝詮三君) 未ダ加算ノ關係
ニ付キマシテハ、其ノ邊ノ議ヲ纏メテ居リ

マセヌ、御承知ノヤウニ其ノ點大分疑問ガ
アリマスルノデ、事實ニ於キマシテハ申ス迄
モナク戰爭狀態デアリマスルシ、又今日ノ
法規ノ方カラ申シマスルト餘程疑問ガアリ
マスルノデ、其ノ點ハ事實方面カラ見タ所
ト、ソレカラ法規ノ解釋ノ方カラ見タ所ト
ヲ調和シテ行カケレバナラヌト思ヒマス
ノデ、實ハ苦心ノ存スル所ナノデゴザイマ
ス、サウ云フヤウナ譯デ加算ニ付キマシテ
ハ、最後の決定ヲ致シテ居リマセヌノデ、
アノ爲ニ戰死シタ遺族ノ方々ニ對シマシテ
ハ、取敢ズ少クトモ給付シ得ルモノハ給付
スル、後カラ其ノ點ニ付キマシテノ追加ト
申シマセウカ、ト云フ部分ガ、ヤルト云フ
コトニナレバヤルヤウナ態度ヲ採リタイト

考ヘテ居リマスケレドモ、ソナヤウナ事
情デ進ンデ居リマスノデ、最後の決定ヲ
マダ致シテ居リマセヌノデゴザイマス

○男爵菊池武夫君 アノ事件ノ事實ト云フ

モノハ、モウ非常ナ戰鬪デアリマシテ、是
ハモウ全ク戰時扱ヲ爲サルベキ素質ノモノ
デ、法規ガ許サヌケレバ特ニ法ヲ御制定爲
サツテモ戰時扱ヲ爲サラネバナラヌモノ
ト思ヒマスガ、滿洲ニ駐シテ居リマス軍

隊ガ矢張り一箇月半、先ヅ大體ニ於テ屬ス
ベキモノガアノ關係事件ノ時ニ、北方ニ於
テモ作戰行動ニ出テ居ルノデアリマス、是
モ併セテ御包含ニナルノガ至當デアツテ、
アノ解決ノ付キマス十日ノ日ト云フモノ
ニ、「ロシア」ガアレ程折レマシタノハ、全
ク滿洲軍ノ決意ノ現レニ基クモノト私ハ
思ツテ居リマス、左モナケレバ潰サレタカモ
知レナイ程ニ感ズル事件デアリマシテ、ア
ノ關聯事件ダケハ少クモドレ程ノ範圍カ知
レマセヌガ、戰時扱ヲ爲サレタイ、ソレカ
ラ豫ネテ滿洲ノ軍隊ニハ昔カラアリマスガ、
加算ノ問題デハ隨分アルノデス、我々共ガ
旅順ヤ柳樹屯ニ居リマシテ、一箇月半デゴ
ザイマシタカ、アノ時分ニハナカッタカモ知

レナイト思フノデスガ、其ノ守備隊トシ
テヤルコトハアリマスガ、外ノ所ト著シク
釣合ガ違ッテ來ルノデアリマス、彼處ハ關東
州デアルガ故ニイカナイト云フヤウナ、隨
分昔カラ議論ノアツタ問題デアリマス、今迄

ニ陸軍デモ御取扱ニハナツテ居リマスルカ

ラ、滿洲ニ居リマスドノ線カラガト云フコ
トハ申サレマセヌケレドモ、第一線部隊ト
云フモノハ、支那ニ居リマスル野戰部隊ノ

或部分、或ハ守備部隊ノ幾部分、例ヘバ上
海、南京、北京、天津ト云フヤウナ所ニ居
リマスルヤウナ部隊等ニ比レバ、遙ニ緊
張シテ居ル、實際第一線ニ活動シテ居ル軍
隊、或ハ又氣候風土等ニ關スル困難ニ耐ヘ
テ、全ク戰鬪狀態ニ居ル部隊ガアルノデア
リマス、是等ニ對スル今度ノ適用ガ意味ヲ
有ツテ居ラスヤウニ見エルノデアリマスカ
ラ、將來ニドウシテモ御考慮ニナルベキモ
ノデアラウト思フ、左モナケレバ所謂軍政ト
申シマスカノ上カラ、可ナリ兵ノ士氣ニモ
影響スルヤウナコトニナルノデナカラウカ
ト云フヤウナ感ジモアリマスシ、其ノ邊ニ
關スル將來ノ御考ニ付テ伺ヒタイ

デアリマシテ、其ノ點ハ私恩給局長在職當
時ニ於キマシテモ非常ニ苦心致シマシタノ
デアリマス、御承知ノヤウニ菊池閣下ガ當
時陸軍ニオイデノ頃ノ戰鬪ハ、宣戰布告ヲ

シテ又講和條約ヲ締結シテ、バツト氣持良ク

濟ンデシマッタノデスガ、宣戰布告モナシニ
始ツテ、終ヒノ方ハ何時終ツタカ分ラヌト云
フヤウニ、局地的ニ或地方デハ濟ンデシマ

ヒ、或地方デハ依然トシテヤツテ居ルト云フ
ヤウナ狀態ニナツテ、所々飛地等ガ出來テ參
リマシタ、滿洲事變等ニ於キマシテモ非常
ニ長ク互リマシタノデ、アノ當時ノ加算ニ
於キマシテモ場所ヲ限リマシテ順次戰役ノ
加算ヲ減ラシテ行クト云フ風ナ態度ヲ執リ
マシタノデアリマス、其ノ爲ニ毎回勅裁ヲ
經マシテ地域ヲ限定シ、ソレカラ加算ヲ付
ケテ、而モ舊ノヤウニ事變ガ濟ミマシテカ
ラ、畫ニ皆加算ヲスルト云フ譯ニハ參リ
マセヌノデ、事變ノ途中ニ於テ勅裁ヲ部分
部分デ仰イデ、サウシテ加算ヲ付ケテ行ク
ト云フコトニ致シマシテ、長クナリマスノ
デ途中デ戰死サレル場合モアリマスシ、職
ヲ罷メタル者モアリマスシ、色々ナ關係ガア
ルノデスカラ、サウ云フヤウナコトニヤリ

マシテ、結局一番後へ残りマシタノハ今ノ御話ノ東邊道ノ邊デアリマシタガ、一應戦時ノ例ノ三箇月ノ加算ノ方ハ打切りマシタノデスガ、尙外國鎮戍トシテノ加算ヤ、擾亂地方トシテノ加算等ガズツテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、是モ地域ヲ限リマシテ、サウ云フコトノ何デモナイ地方ニ迄ハ及シテ居リマセスケレドモガ、状況ノヒドイ所ニ付キマシテハ、依然トシテマダアルノダト云フヤウナ状態デ居リマス、デ只今御尋ノ張鼓峰ノ際ニ、御話ノ通りニアノヒドイ戦争デアッタコトハ新聞等デモ存ジテ居リマスルシ、又恩給局關係カラ致シマシテ、軍ノ當局カラモ實相モ承ッテ居リマシタノデスガ、ソレデ實體ハヒドイ戦争ト云フコトデアリマスノデ、此ノ實體ニ應ズルヤウナ處置ヲ考ヘナケレバナラナイ、法ノ解釋ノ許ス最高限ニ於テ緩ク考ヘテ行キタイト云フ考ハ有ッテ居リマシタ、唯申上ゲル迄モナイノデスガ、法ヲ一般ニ適用シテ參リマス、其ノ場其ノ場デ宜イカラト云フダケニモ參リマセスシ、アレガ宜イナラ是モ宜イ筈デヤナイカト云フノカ後カラ出テ參リマスノデ、其ノ邊ノ所ハ、後カラ同ジヤウナ、或ハ類似ナノガ出テ來テモ別ニ弊害ガナイト云フヤウナ所ニ、何カ區切りヲ付

ケナケレバナラナイモノデスカラ、ソレ等ガ非常ニ考慮ヲ要スル點デアッタノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ其ノ邊ノ所ハマダ遅レテ居ルト云フヤウナ状態デアリマス、唯戦死等ヲシタ人ノ遺族等ニ付キマシテハ、一日モ早く扶助料ヲ貰ハナケレバナラヌノニ、サウ云フコトガ解決シナイト扶助料ガ貰ヘナイト云フヤウナコトガアルトイケマセスノデ、昭和八年ノ時デアリマシタカ、恩給法ノ一部改正ヲ致シマシテ、先ヅ議論ノナイ、問題ノナイ部分ニ付テ給與ヲ爲シ得ルト云フ規定ヲ置キマシテ、先ヅソレデヤツテ、サウシテ後カラ問題ノアル部分、或ハ又加算等デ増額スルヤウナ部分ハ、ソレヲ追加シ得ルト云フヤウナコトニ致シマシテ、ソレ等ノコトヲ運用致シマシテ、遺族等ニハ困難ヲ感ズルコトノナイヤウニ處置ハ致シテ居ル譯デアリマス

○男爵菊池武夫君 三十二條ノ改正ハチ
ヨット素人目ニ見マス、我々ミタヤウナ事實ヲ知ッテ居ル者カラ見ルト、此ノ範圍ト云フモノハ至ッテ少サイモノデアルト直グ直感シマス、普通ノ人ガ見マス、軍人デモ内地ニ居ッテサヘモ加算ヲ貰ヘルヤウナ法規ニナル、斯ウ云フ風ニ解釋スル、況ヤ滿洲ニ居ル部隊ニ對シ恩給ヲヤルト云ツタヤ

ウナ氣分デ今度ノ改正ヲ解スルノデ、尙更世ノ中ノ人間ガ強烈ニ怒ルノダト思フノデアリマスガ、兎ニ角滿洲ノ軍隊ニ關シマス今迄ノヤリ方デ救済サレツ、アルナラバ、マアソレデモ満足デアリマスガ、ドウカ廣ク満足ノ行クヤウナ方法ニ依ッテ、滑カニドウゾ御調整ニナルヤウニ、將來ニ更ニ改正法デモ御提出アラムコトヲ希望致シテ私ノ質問ヲ終リマス

○政府委員(樺貝詮三君) 御希望ノ點能ク承リマシテ、唯何デゴザイマスガ、唯其ノムヅカシイ點ト云フ點ヲ簡單ニ申上ゲレバ、其處ニ戰地外ナラバ一月、一般戰地デアレバ三月ト云フノデ、ソレデ其ノ三十二條ノ末項ノ方デ、戦争ニ準ズベキ事變ハ勅裁ヲ以テ定メルト云フコトニナツテ居リマスノデ、今度ノ支那事變ヲ取リマス、ソレヲ事變ト勅裁ヲ仰ギマス、張鼓峰ハチヨット切り離レタ別ノモノニナルノデスカラ、ソレダケデハチヨット參リマセスノデ、アレヲ切り離シテ一ツノ事變ト云フ風ニ勅裁ヲ仰ガドウカト云フコトガ問題ガ一ツ殘リマス、或ハアレハ今度ノ事變ノ一部分、連絡セラレタル一部分ト見ベキカ、サウモ見ラレナイ、マアソレ等ガ考究シテ居ル點ナンデス、何レ只今ノ御意見、單リ加

算バカリデヤアリマセスデシテ、戦死シタ人ノ遺族ニ對スル扶助料ノ額ガ非常ニ戦争デ死ンダノトソレカラ戦争外ノ公務デ死ンダノデハ非常ニ違ッテ居リマス、アレハ所謂我々ガ常識ニ於ケル戦争デアルコトハ疑ヒナイノデスケストモ、法規カラ考ヘタマア恩給法ノ戦争ト云フノハ、國際法上ソコニ形デ認メラレル戦争ヲ戦争ト考ヘル、サウデナイモノハ戦争ノ……之ニ準ズベキ事變ト考ヘテ居リマスガ、今度ノ支那事變ハ戦争ニ準ズベキ事變ト行クヨリ仕方ガナイト思ッテ居リマスガ、サウ云フ時ニアレガ支那事變ノ一部ニ入り得ルカドウカト云フコトガ問題ノ譯ナンデス、今ノ御趣旨デ大體事實關係ニ於キマシテハ、我々モドウモソノナ風ニ考ヘテ居ルヤウナ所デアリマシテ、能ク考慮致スコトニ致シマス

○男爵菊池武夫君 左様ナ仰セデアリマシテ、アレハ決シテ支那事變トハドウモ申サレヌト思ヒマス、兎ニ角「ソ」滿國境事變ト言ツタヤウナ意味ニ明示サレテ然ルベキ事實上ノ戦争ナンデスカラ、サウ云フ風ニ考ヘマスシ、尙滿洲軍ナルモノノ性質カラ廣ク何かモウ少シ又意味ガナケレバナラヌト斯ウ云フ二ツノ考デアリマス、ドウゾ其ノ點ヲ御區別ヲ願ッテ置キタイ

○委員長(公館岩倉員榮君) 外ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○子爵立花種忠君 私ハ昨日ノ委員會ニ文武官恩給増額等ニ關スル資料ヲ請求致シマシタガ、確ニ頂戴シテ居リマス、是ハ此ノ現下ノ事變ニ依ル所ノ恩給受給者ノ増加等ニ伴ヒマシテ、政府ハ現行恩給法ヲ全面的ニ御變ヘニナルヤウナ御考ヲ御持チデナイカト察シマシテ、調査資料トシタイ爲ニ御請求シタノデアリマス、衆議院ニ於テ本法案ノ特別委員會デ、政府當局カラシテ具體的ニ、只今全面的ニ改正シヨウト云フ積リハナイト明確ニ御答辯ニナツテ居ラレルヤウデアリマスルカラ、此ノ上私ハ更ニ御尋ハ致シマセヌガ、今次事件ハ今後各方面ニ互リマシテ相當社會情勢ニモ大ナル變動ヲ來シテ參リハシナイカト思ハレマス、而モ其ノ間ニ處シテ外國ノ忌ムベキ思想等ガ若シモ注入サレタトシタナラバ、由々シキ事態ヲ惹起セストモ測リ難イノデアリマシルガ故ニ、政府ハ今カラ十分是等ニ付テ對策ヲ御講ジニナツテ居ラレルコトハ思ヒマスルガ、其ノ點ニ十分御考慮ガアルノガ然ルベキデハナイカ、過去ニ於テサヘ恩給法ノ改正ト云フコトヲ提ゲテ、一部ノ者ガ多少ノ騷ヲシタコトガアリマス、ア、言フコ

トガ起ルコトモ甚ダ遺憾ノコトデアリマス、ドウゾ是等ノコトニ付テハ十分ニ御考慮置キテ願ヒタイト云フ希望ヲ述ベテ置キマス、質疑デハアリマセヌ、希望トシテ述ベテ置キマス、次ニ御尋ネ致シタイノハ、政府提出ノ參考資料ニ依リマス、恩給ノ豫算額合計ガ二億四百餘萬圓、龐大ナル金額ニ上ツテ居リマス、人員ニ付キマシテハ先程請求シマシテ、只今頂戴致シマシタノデ能ク分ツテ居リマスガ、是ハ國家ニ功勞ガアッタ人々ニ國家ガ之ニ恩給ヲ支給スルト云フコトハ、是ハ當然過ギル程當然デアリマス、寧ろ今日其ノ額ハ稍、少イノヲ遺憾トスルヤウニ思フテ居リマスガ、併シ是ハ國家ノ經濟上蓋シ已ムヲ得ナイノデアリマス、是ハ私トシテモ能ク諒承シテ居リマス、決シテ此ノ場合増額ナドト云フコトハ申上ゲルノデハアリマセヌ、併シナガラ私ハ思ヒマスルノニ、此ノ戰時事變ニ際シマシテ、君國ノ爲ニ戰死サレタル所ノ尊敬スベキ、將又感謝スベキ戰傷病死將兵ノ遺族ニ對シマシテ、此ノ消極的ノ恩給法ト並ビ進ンデ、更ニ何等カ積極的ノ施設ヲ必要スルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ是等感謝スベキ遺族ノ子女ノ教養ト云フコトガ、最モ重要ナルコトデアリマシテ、其ノ父ナリ其ノ

兄ナリガ、君國ノ爲ニ犧牲奉公、國ニ殉ジテ完成シタ所ノ帝國不動ノ國是タル所ノ、東亞永遠ノ平和ヲ未來永劫ニ持續ケルガ爲ニ、他ノ銃後ノ國民ノ努力スルコトハ當然デアリマスガ、其ノ子女ノ教養ニ缺クル所デアリマシタナラバ、國家トシテ重大ナル私ハ道德的責任ヲ負ハネバナラスノデハナイカ、寧ろ將來ニ甚ダシキ缺陷ヲ醸成スベキ危險ガ出テ來ルノデハナイカト云フヤウナコトヲ感ゼラレルノデアリマス、尤モ近頃聞キ及ブ所ニ依リマス、東京市アタリデ小學校ニ於テ、是等ノ遺族ノ子女ニ對シテソレノ相當ノ優遇施設ヲサレテ居ルヤウニモ聞イテ居リマスルケレドモ、甚ダ我我日本人トシテ言ヒニクイコトデアリマシガ、日本人ノ第一缺點タル所ノ熱シ易ク冷メ易イト云フ性格、サウ云フコトハ全然無イコトトハ私ハ信ジテ居リマスルガ、遠キ將來トハ言ハズ、近キ將來ニ於テ多少此ノ遺族或ハ戰死者ノ靈ト云フモノニ對スル所ノ國民ノ尊敬ト云フモノガ、次第ニ薄ラダヤウナコトガアリハシナイカト云フ風ナコトヲ私ハ心配致シテ居ルノデアリマス、ソコデ政府ハ近キ將來ニ於テ、特ニマア遺族學校ト云フヤウナ學校ヲ設立サレマシテ、此ノ名稱ハマア私假定的ノモノヲ申シタノデ

當ヲ得テナイコトハ當然デアリマス、サウ云フ風ナ學校ヲ拵ヘテ、頭ノ良イ子女デアリマスルナラバズンノ上ニ上リマセウガ多少缺陷ガアリマシテ上級ノ學校ニ進ムコトガ出來ナイト云フヤウナ子女モ、何人カノ中ニハアルノダラウトモ推察致シマス、斯ウ云フ者モオ前ハ能力ガナイノダカラモウソコデ止メテシマヘト云フノハ實ニ酷デハナイカ、此ノ點ニ於テハ政府トシテハ斯ウ云フ尊敬スベキ、感謝スベキ遺族ノ子弟ノ教養ト云フコトニ付テハ、多少缺陷ガアツテ上級ニ進メナイ者ニモ、或程度ノ之ニ教養ヲ與ヘナケレバナラス、學識ニ於テ多少足りナイト雖モ、精神的ノ立派ナ者、常識ニ富ンダ立派ナト云フ人間ヲ造リ上ゲルト云フ、サウ云フ施設ヲスルト云フ、遠大ナル抱負ヲ御持チニナルコトガ大切デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、蔣介石ノ如キ者デモ、御承知ノ通り私ハ見テ參リマシタガ、南京ノ紫金山ノ麓ノ中山陵ノ側ニ遺族學校ト云フモノヲ建テテ、遺族ノ子弟ノ教養ヲシテ居ッタノデアリマス、彼トシテモ相當ナ抱負ヲ持ツテ居ルナト私ハ見テ參ッタノデアリマスガ、況ヤ此ノ今日ノ日本ト致シマシテ、此ノ大國是ヲ遂行中デアリマシガ、遂行シテシマッタト云フ場合ニ於テハ、

是等ノ點ニ付テハ私ハ政府トシテ御考ニナラナケレバナラスノデハナイカ、サウ云フ遠大ナル御考ヲ御持チニナツテ居ラレルカドウカト云フコトヲ伺フノデアリマス、甚ダ御無禮ナ話デアリマスガ、私ノ質疑ニ對シマシテハ一當局トシテノ御考デハ満足シマセヌデアリマシテ、此ノ日本帝國政府ト云フ大ナル立場ニ於ケル所ノ經綸ヲ伺ヒタイノデアリマス、序ニ歐米各國ニ於ケル所ノ斯ウ云フモノニ對スル、何カ遺族ノ學校トカサウ云フモノノ好適例ガアリマスルナラバ御示ヲ願ヒマスレバ仕合セニ存ジマス

○政府委員(補員詮三君) 只今ノ第一ノ御希望ノ點ハ能ク承リマシタノデ、十分ニ考慮ヲ致ス積リデ居リマス、私等ニ於キマシテモ此ノ事變ガ色々ノ方面ニ色々ナ影響ヲ及スト云フコトハ痛感致サレマスルノデ、場合ニ依リマスルト、社會ノ各般ノ狀況ヲ、變化スルコトニナリハシナイカトサヘモ考ヘテ居リマスルヤウナ譯デアリマス、從テ恩給制度ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、此ノ事變ノ推移ヲ見テ居リマシテ、十分ニ考慮ヲ加ヘナケレバナラスノデハナイカト云フ積リデ居リマス、ソレカラ第二ノ御質問ノ部分ハ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、政府委員ノ私カラ御答辯申上ゲルニシテハ、

餘リニ大キイ問題デアリマス、現在ニ於キマシテノ事情ヲ一應簡單ニ申上ゲマシテ、其ノ餘ノ大キナ大方針ニ付キマシテハ、更ニ政府トシテノ考ノアル所ヲ改メテ、或ハ國務大臣等ニ能ク承リマシテ御答スルコトニ致シタイト思ツテ居リマス、現在ニ於キマシテ子女教養ニ關シマシテハ、地方々々ニ於キマシテ、例ヘバ小學校ナドニ於キマシテ、サウ云フ遺族ノ子供ノ授業料等ハ取ラナイトカ、或ハ陸軍ノ幼年學校ヘ入ルト云フヤウナ場合ニハ、サウ云フ遺族ニハ唯一般ノ者ヨリカモ特殊ノ地位ヲ與ヘルトカ云フヤウナコトデ、各方面デ斟酌ヲセラレテ居リマスルシ、又其ノ教養ニ特殊ノ地位ヲ與ヘルト云フヤウナ意味ヲ以チマシテ、昨年ニ於キマシテ恩給法ニ於キマシテモ一部ノ改正ヲ行ヒマシテ、第七十五條ノ末項デアリマスガ、遺族ガ幾人モアルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ人員ニ依ツテ金額ヲ加給スルト云フヤウナ制度ヲ昨年設ケマシタノデアリマス、デ是ハドウ云フ場合カト申シマスルト、公務員ガ戰闘又ハ戰闘ニ準ズベキ公務ニ因ツテ死亡シタトカ、或ハ其ノ傷病ノ爲死亡シタト云フヤウナモノトカ、其ノ他ノ普通ノ公務デ死シタト云フヤウナ場合モ加ヘテ居リマスガ、又増加恩給ヲ貰ツテ居

ルヤウナ者ノ遺族ガ普通ノ病氣デ死ニマシタ、増加恩給ヲ貰フニ至ル原因デアッタ傷病其ノモノデナクテ、別ナ病氣デ死ニマシタヤウナ場合ニモ、其ノ遺族ニ一定ノ加給ヲスルト云フヤウナコトヲ昨年モ改正致シマシタ、是ハ申ス迄モナク法律デアリマスカラシテ、一時ノ感情ガ昂ブツタ時ダケガ斯ウ云フコトヲヤル、又後ニ冷淡ニ歸ルト云フヤウナコトハナイ譯デアリマスガ、サウ云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、子供ノ教養ト云フヤウナモノニ付テハ斟酌ヲ加ヘテ居ル、固ヨリ是ハ教養バカリノコトヲ考ヘテ居リマセヌ、生活モ幾人モ居レバ苦シイデアラウカラト云フヤウナ包括的ノ意味モアルノデアリマスケレドモ、無論小サイ子女ノ教養ト云フヤウナコトヲ考ヘテ、昨年モ改正シマシタヤウナ譯デアリマス、各方面ニサウ云フコトハ散在シテ居リマスガ、更ニ遺族ト云フモノヲ通ジマシテ、サウ云フヤウナ學校ヲ作ルト云フ、教養機關ヲ作ルト云フヤウナコトモ亦考ヘ得ル所デアリマス、唯遺族ヲ別ニスルト云フ、其ノ遺族ダケヲ教育スルト云フヤウナ形ヲ取リマスト云フト、今此ノ熱シテ居リマス時ニハ非常ニ宜シウゴザイマスケレドモ、只今御言葉ノアリマシタヤウニ、先々ヘ參リマシテ、サウ

熱ト緊張ガ續クカドウカモ疑問デアリマシ、時日デモ過ギマシテ長ク經チマスト熱ガナクナル、サウスルト其ノ遺族ダケヲ集メテ學校ト云フヤウナモノニナレバ、何カ理由ナシニ、只見テ貰フ者ノ集マル所ダト云ッタヤウナ感ジヲ與ヘルコトモアリマシテ、ソレ等ノ點モ餘程考慮サナクテハナラヌコトト思ツテ居リマス、ソレ等ノ事情モアリマスノデ、是ハ分散シテ、唯特別ノ優遇ノ途ヲ講ズルト云フヤウナ形ヲ取ルカモ知レマセヌシ、全體サウ云フ風ナ分ニ付テ非常ニ考慮ヲ拂ハナケレバ宜シクナイト云フ御意見ニ付テ、無論我々事務當局方面ニ於テ異議ノアラウ管モアリマセヌシ、政府ニ於キマシテモ異論ノアル管モナイト考ヘマスノデ、今申上ゲタヤウナコトハ重大ナ事柄デアリマスカラ、其ノ邊ハヨク事務當局、又政府ノ方ノ意嚮モ直接ニ確メマシタ上デ、更ニ御答ヘ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵立花種忠君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、私ガ質疑ヲ成ルベク簡單ニシタイ爲ニ、極ク手短カニ致シマシタノデ、十分ニ私ノ意中ヲ盡シテ居ラナイノデアリマス、實ハ是ノミニ限リマセヌガ、斯ウ云フ風ナ問題ニ付キマシテ、多少考ヘテ居ル

熱ト緊張ガ續クカドウカモ疑問デアリマシ、時日デモ過ギマシテ長ク經チマスト熱ガナクナル、サウスルト其ノ遺族ダケヲ集メテ學校ト云フヤウナモノニナレバ、何カ理由ナシニ、只見テ貰フ者ノ集マル所ダト云ッタヤウナ感ジヲ與ヘルコトモアリマシテ、ソレ等ノ點モ餘程考慮サナクテハナラヌコトト思ツテ居リマス、ソレ等ノ事情モアリマスノデ、是ハ分散シテ、唯特別ノ優遇ノ途ヲ講ズルト云フヤウナ形ヲ取ルカモ知レマセヌシ、全體サウ云フ風ナ分ニ付テ非常ニ考慮ヲ拂ハナケレバ宜シクナイト云フ御意見ニ付テ、無論我々事務當局方面ニ於テ異議ノアラウ管モアリマセヌシ、政府ニ於キマシテモ異論ノアル管モナイト考ヘマスノデ、今申上ゲタヤウナコトハ重大ナ事柄デアリマスカラ、其ノ邊ハヨク事務當局、又政府ノ方ノ意嚮モ直接ニ確メマシタ上デ、更ニ御答ヘ致シタイト考ヘテ居リマス

○子爵立花種忠君 只今ノ御説明デ能ク分リマシタガ、私ガ質疑ヲ成ルベク簡單ニシタイ爲ニ、極ク手短カニ致シマシタノデ、十分ニ私ノ意中ヲ盡シテ居ラナイノデアリマス、實ハ是ノミニ限リマセヌガ、斯ウ云フ風ナ問題ニ付キマシテ、多少考ヘテ居ル

コトデアリマシテ、本會議デ質疑致スノモ
餘リト思ヒマシテ止メテ居リマスシ、豫算
委員デアレバ豫算委員會デアレバ宜イノデ
アリマスガ、委員デアリマセヌノデ、誰カニ
代ッテ質疑ヲシテ貰ハウト思フノデスガ、
其ノ實差控ヘテ居ツタノデアリマス、幸ヒニ
此ノ特別委員ニナリマシテ、此ノ機會ニ實
ハ伺ツタ次第デアリマシテ、此ノ意ノ在ル所
ヲドウゾ上司ニ御傳ヲ願フテ置キタイト思
ヒマス、是レ以上私ハ質問ヲ致シマセヌ

○委員長(公館岩倉員榮者) 外ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカ……御質問ガナケバ、質
問ヲ打切りマシテ、討論ニ入りマス

○子爵植村家治君 私ハ本案ニ無論賛成ヲ
致ス者デアリマスガ、聊カ希望ヲ述ベマシ
テ、賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、是ハ
立法上少々無理ナ御註文カモ知レマセヌガ、
私ハ現行恩給法ノ從來ノ改正ヲ考ヘテ見マ
スト、屢々其ノ時事ニ準據シテ改正サレテ
參ッチャウニ思ヒマス、何レモ其ノ當時ニ於
テ斯ウシナケレバナラナイトカ云フ單ナル問
題カラ、餘儀ナク改正セラレタ経緯デア
ヤウニ思ヘルノデアリマス、先刻伺ツタ御答
辯ノ事實デモ承知致シマシタノデアリマス
ガ、所謂戰時下ニ於テハ統後問題處理ニ、
平時ニ於キマシテハ官吏ノ動向ニ關スル社

會問題デ、即チ已ムナク時事ノ恩給處理ノ
爲ニ、財政ノ許ス範圍内ニ於テ、恩給待遇
ノ改善ヲサレマシテ、事態ヲドウヤラ處理
シテ行カウ、斯ウ云フコトカラシテ、段々
改正セラレタヤウニ思フノデアリマス、私
ハ唯此ノ事態處理ニノミ政府當局ガ關心ヲ
持ツテ行カレルト云フコトハ、誠ニ當時已ム
ヲ得ザルコトトハ思ヒマスガ、ヨリ以上ニ
私ハ是等ノ國家ノ奉公者ニ對シテ、今少シ
ク……只今ハ其ノ精神ガ籠ツテ居ラヌトハ
申シマセヌガ、精神ノ籠ツテ他ノ恩給方法ヲ
新タニ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、
雷ニ金錢恩給サヘ考ヘテ居リサヘスレバ宜イ
ト云フニ止ラズ、私ノ言フ所謂廣イ意味ノ恩
給方法ヲ考ヘテ戴キタイトデアリマス、即チ
現行恩給法ノ金錢恩給法以外ニ、待遇ノ恩
給、待遇恩給ト云フモノヲ、現行ノ恩給法ニ絡
ミ合ハシテ、新シク創設スルト云フ意見ナ
デアリマス、是ハ特ニ戰時從軍軍人ニ對シテ、
平和時ノ時ノ施設ノ上ニ、一ツノ新シイ計
畫ヲ立テラレタイトデアリマス、私ハ不幸ニ
シテ軍隊教育ヲ受ケ得ナカッタ者デアリマス
ガ故ニ、軍人生活ノ氣分ヲ十二分味ヒマセヌ

人諸君ニ對スル敬意ノ發露ハ、現下御承知ノ事
實トシテ現レテ居ルコトハ皆様篤ト御諒承
ノコトト存ジマス、醜ツテ一旦平和ニナリマ
スト、即チ先刻モ御答辯ニナツチャウニ、一般
人ノ熱ガ冷メタ時代、而シテ平和氣分ガ長
ク横溢シテ參ル時代ニ於キマシテノ社會人
ハ、ドウ見テ居ルデセウカ、政府モ亦ト申上ダ
タイ氣ガシマス、私ハ是ハ甚ダ前ニ遡ツテ申
譯アリマセヌガ、財政ノ都合上、先年傷痍
軍人ニ對スル傷痍軍人徽章ノ下付ノコトデ、
請願委員會ヘ請願サレタノデスガ、此ノ勳
功ヲ表彰スル傷痍軍人ノ表章ガ行渡ツテ居
テ、之ヲ成ルベク行渡ラセルヤウニシ
テ、其ノ表章ヲ胸ニ懸ケテ、私ハ從軍シテ
國家ニ御奉公シタ、斯ウ云フ片輪ニナツテ居
ルケレドモ、詰リ傷痍軍人デアルト云フコ
トヲ全部ニ懸ケサセテ戴キタイト云フノデ、
其ノ請願ガアツタノデアリマスガ、ソレニ對
シテ政府ノ御答辯ハ、ソレヲ全部行渡ラセ
ル爲ニ、徽章ノ製造費ハ約五萬圓トカ、ソ
レハハッキリチヨツト分リマセヌガ、五萬圓
位掛ルノダト云フヤウナ御話デ、タツタ五萬
圓ノ金デサヘ、所謂平時ノ時ニハ外ノ方ニ
入用ガアルカラ、勘辨シテ戴キタイト云フ、
政府ノ御考デアルカドウカ分リマセヌガ、
兎ニ角ソレデサヘ行渡ラナカッタノデアリマ

ス、デ此ノ犠牲ノ傷痍軍人、路傍ニ往來セ
ラレル普通ノ軍人諸君、之ニ對スル眼ハド
ウデアリマセウカ、今後ハ、今日ノ斯ウ云
フ大キナ事變ノ爲ニ、奉公サレタ軍人諸君
ニ對シテ、今後平時ニナツテモ絶對ニサウ云
フ變ナ眼デ見ルト云フ社會、國民ハナイデ
アリマセウガ、マア是等ノ前ニハドウモアッ
タ此ノ一般ノ惡イ觀念ヲ、今回ノ此ノ事變
下ニ一掃スルト云フコトヲ、長期建設ノ新
段階ニアル此ノ好時機ニ、是非確立シテ
置クノ必要ガアラウカト思フノデアリマス、
國民ノ總力ニ依リマシテ、此ノ聖戰終局ノ
目的ヲ果シマスル上ニハ尙更ノコトデアツテ
此ノ聖戰ノ終局後ノ長イ平時ニ、其ノ平時
ノ期間ニ於テ、軍民ノ間ノ心……詰リ心ノ
間ニ萬全ヲ期スルト云フ精神ノ現レヲ、此
ノ際是非充實スルニハ非常ニ好イ時機ヂヤ
ナイカト思フノデアリマス、私ハ此ノ際一
般普通ノ、現行ノ官吏恩給法ニ止マラズシ
テ、特ニ其ノ從軍ノ軍人ニ對スル軍人恩給
方法……恩給法ト云ハズ、方法ト云フヤウ
ナモノヲ別ニ一ツ考ヘテ、待遇恩給法ヲ創
設シテ戴キタイト思フノデス、外國ニ此ノ
例ヲ……卑近ナ例ヲ申上ダテ甚ダ恐縮デス
ガ私先年「イタリ」ニ參リマシテ……千九
百二十三年デシタカ、「ローマ」デ經驗シタノ

デ戰時事變下ニ於キマシテハ、甲モ乙モ軍
人諸君ニ對シテ、最モ痛感スルモノデアリマス、
ガ、對、軍人諸君ニ、殊ニ其ノ戰爭從軍後ノ軍
人諸君ニ對シテ、最モ痛感スルモノデアリマス、
デ戰時事變下ニ於キマシテハ、甲モ乙モ軍

デアリマスガ、一日「マッサージ」師ヲ傭ツタ、其ノ時ニ劔ヲ釣ツタ兵隊サンガ……マア銃卒デセウカナア、其ノ方ガ附イテ來ラレテ、即チ日本ノ現役兵ノ從卒ノヤウナ軍人サンガ正服ヲ著ケテ、此ノ盲目ノ「マッサージ」ノ術者ニ附添ッテ私ノ寢室ニ來ラレタ、デ私ハ療治後聽イテ見マス、此ノ軍人ハ所謂傷痍軍人……將校デアッタデセウナ、傷痍軍人デアリ、從軍中ノ功勳ヲ待遇スル爲ニ現役ノ從卒ヲ附ケテ居ル、斯ウ云フ盲目ノ傷痍軍人ニ對シテハ斯ウ云フコトニ待遇シテ居ル、又他ノ從軍ニ勳功ノアツタ他ノ人デス、ナ、ソレニハ別ニ一ツノ特權ヲ與ヘテ、其ノ特權ハドウ云フ場所デモ自由ニ出入ガ出來ル、サウ云フ特權ヲ與ヘ、サウシテ之ニ過スル、即チ金錢以外ノ或待遇ヲ與ヘル、是ハドウ云フ彼ノ國ノ法ニ依ッテヤラレテ居ルカ、ソレハ私ハ研究シテ居リマセヌガ、兎ニ角日本ノ金錢恩給法以外ニ精神的ノ待遇……此ノ恩給ヲ與ヘテ居ルト云フ此ノ一ツノ或例ナノデスガ、之ヲ其ノ儘日本ニ適用セヨトハ私ハ申スノデハナイノデスガ、平時ニ於テハドウモ考ヘラレナイ他ノ待遇恩給ヲ此ノ際考慮シテ戴キタイ、別ノ恩給法ヲ、其ノ法ヲ深切ニ考ヘテ欲シイ、此ノ一念ナノデス、日本デハ種々ノ國內法ノ縛

ラレニ依リマシテ迎モムヅカシイダラウト思ヒマスケレドモ、所謂精神的ニ、又恩給法ヲ扱フ者、其ノ運用者ノ肚デ過スル、待遇スルト云フ、恩給法ヲ活用ササウト云フ、活用ヲ考ヘテ恩給スルト云フニハ、ドウ云フ工合ニ法ヲ活用シタラ宜イカト云フコトヲ考ヘテ戴キ、他ノ別法ヲ一ツノ立法トシテ立テテ戴キタイト斯ウ思フノデス、是ハ非常ニムヅカシイコトト思ヒマスケレドモ、マア是非何トカ金錢以外ノ恩給法ニ對シテ、ドウ云フ施設ヲシタラ宜イカト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイト思フノデス、デマア今次事變下、所謂銃後ノ諸施設ノ上ニ、私ノ所謂此ノ新規ノ待遇恩給法ト云フモノヲ考ヘテ戴イテ、金錢恩給ノミデ唯解決シタト云フコトノ單ナル考デナクシテ、待遇恩給ヲ肚カラ……肚カラノ精神カラ恩給シテヤルト云フ氣持ヲ以テヤッテ戴イタラドウカト、斯ウ云フ私ノ氣持デ、マア諄ク申スヤウデアリマスガ、所謂金錢恩給以外ニ待遇恩給ト云フモノヲ考ヘテ、何カ一ツノ施設ヲ作ッタラドウカ、斯ウ云フ考ナノデス、デ是ニハ現今アリマスル銃後ノ保護院ト云フヤウナモノヲ活用シテ、之ヲ挾ミ込ムカ、何カ其ノ銃後奉公ニ對シテ色々ナ施設ガアルダラウト思ヒマスガ、此ノ會トノ聯携ヲ、何カ

ノ法ニ依ッテ自由ニ、褒賞待遇ノ出來ル一ツノ方法ヲ考ヘテ……斯ウ申ストナカノ言ヒ易クテ立法技術ガ非常ニムヅカシイダラウト思フノデスガ、所謂先程モ言ッタヤウニ、別ノ待遇法ヲ深切ニ何トカ、其ノ立法ニ依ッテ結付ケテ立テテ行ッテ貰フト云フ心持ヲ御願ヒシタイト思フ、現時事變下ノ軍事援護ノ色々ナ機關ガアツテ、ソレヲ何カ中樞ニ又纏メタ一ツノ中樞團體ト云フモノニ括サレテ、サウシテ其ノ事變下一時的ノモノデナクシテ、永久ニ或法文ノ下デ此ノ中樞團體ヲ結付ケテ、サウシテ今後ノ銃後施設ノ培養強化ヲ圖ッテ戴キタイ、現時アル所謂色々ノ施設會ヲ、一ツノ中樞團體ト云フヤウナモノニ作ッテ、ソレニ詰リ待遇恩給關係ヲ或立法ニ依ッテ綴リ込デ戴ク、斯ウ云フムヅカシイ、マア素人ノ註文ナラデスガ、少シク御考ニナレバ、所謂其ノ肚デアアル方ノ運用サヘアレバ、何トカ出來ルダラウト思フノデスガ、斯ウ云フマア深切ナ、進ンダ積極的ナ御考ニ依ッテ、今後ノ平時下中此ノ兵役義務ニ對スル國民ノ信條ニ、有效ナル效果ヲ齎スヤウナ計畫ヲドウカ御樹立ヲ願ヒタイト、今回ノ事變ニ依リマシテ私ハ政府ニ對シテ將來ノ平和時ノ、先程モ他ノ委員カラ仰セラレタヤウニ、此ノ平和時ノ國民ノ新動向ニ

深く今日カラ其ノ洞察ヲ加ヘラレテ、護國共同總力ノ精神ヲ、此ノ事變下ノ今ニ於テ軍民間ノ間ニ耕シテ下サツテ、現行ノ恩給法ノミトハ申シマス、所謂恩給方法全般ニ互ル新恩給法ノ新設、根本的ノ改正ト云フコトヲ最モ近イ機會ニ於テ、實現スルヤウ、銳意御研究ヲ願ッテ、此ノ希望ヲ致シマシテ本恩給法改正案ニ贊成ヲ致ス者デアリマス

○子爵立花種忠君 私ハ本改正法律案ハ、極メテ時宜ニ適シタモノデアリマシテ、寧ロ其ノ提出ノ遲キ憾ミヲ思ハレルノデアリマス、此ノ法律ノ施行ニ依リマシテ戰場ニ於ケル所ノ將士ガ、彌ガ上ニモ益、奮ヒ立チ國是遂行ニ邁進セラルベキコトヲ信ジ且感激シマシテ、本法案ニ贊成スル者デアリマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御意見ゴザイマセヌカ……外ニ御意見モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ヲ可決スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) 全會一致ト認メマス、本案ヲ可決スルコトニ致シマス、是ニテ閉會致シマス

午後二時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵岩倉 具榮君

副委員長 子爵立花 種忠君

委員

子爵植村 家治君

男爵菊池 武夫君

加藤敬三郎君

橋本辰二郎君

政府委員

内閣恩給局長 平木 弘君

法制局參事官 樋貝 詮三君

陸軍主計大佐 大塚 彪雄君

昭和十四年三月十八日印刷

昭和十四年三月十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局